

～地域から信頼され、患者さんと心が通い合う人間味ある病院をめざして～

# 医療・就労・アートをつなぐフォーラム

2018年9月1日（土） | 奈良県立医科大学 大講堂

## テーマ 医療現場で活躍する 特別支援学校生徒、卒業生たち

【主 催】奈良県立医科大学、奈良県立高等養護学校、NPO法人ならチャレンジド  
【後 援】奈良県、奈良県教育委員会、市町村人権・同和問題「啓発連協」



奈良医大病院で就労する係員32人



荒井正吾 奈良県知事

古家仁 奈良県立医科大学附属病院院长

群馬、長野、東京、大分、大阪等全国から350人が参加！

### （1）障害のある係員、生徒、卒業生が“主役”

案内、受付、司会等の役割を奈良医大附属病院で働く係員32人、特別支援学校生徒、卒業生が担い、意見発表を行いました。

### （2）障害のある人が活躍できる核心を共有

奈良県障害福祉課長、奈良県立医科大学附属病院看護部長、同大学障害者雇用推進マネージャーからの報告があり、障害のある人の活躍できる核心が示されました。

障害（＝できないこと）に注目するのではなく、ひとりの人として認め、その人の能力（＝できること）を職場で発揮していただけることに尽きます。障害のある人の力に気づき、発揮していただける環境を整え、その人に任せ、そして評価することがあって初めて障害のある人が活躍できます。

変わるべきは、受け入れ側の価値観です。

32人の係員は、患者さんや看護師さん等の「ありがとう！」の言葉に仕事のやりがいを感じ、成長しています。

### （3）病院、学校、NPO等の協働事業

病院、学校、NPO等の協働関係が構築されたことが財産です。

今、障害のある人が奈良医大病院へ新たな息吹を吹き込んでくれています。ここ奈良医大病院から就労、アートを通じた“共感の輪”を地域社会へ広げ、障害のある人が活躍できる社会をめざします。

引き続き、応援をよろしくお願申し上げます。

奈良県立医科大学附属病院長

奈良県立高等養護学校長

NPO法人ならチャレンジド理事長

古家 仁

仲子 宏

赤川 義之

～本事業は「奈良県未来へつなぐ文化活動ステップアップ補助金」を受けています～

# 1 部



司会：鴻池 沙弥さん（高等養護学校高円分教室）  
塩見 吉紀さん（医科大学生）

県立高等養護学校ダンス部

## アピール & 作品説明

### ～福田 菜々美さん（高等養護学校卒）～



平成 26 年 4 月から 1 年間、奈良医大の学内保育園助手をしていました。

27 年 10 月頃に妊娠がわかり産休をとり、この 5 月復帰してきました。今、婦人科で仕事しています。仕事復帰しようと思ったのは、みなさんすごくいい方々がいてると、医大の中でも自分に合った仕

事ができ、仕事に対して思っている事を相談すると改善して下さり働きやすいうように考えてくれるからです。

これから、もっと仕事場に頼りにしてもらえるように頑張りたいです。

### ～野村 洋希さん（高等養護学校卒）～



昨年、高等養護学校卒業後、奈良県立医科大学附属病院障害者雇用推進係で働いています。

今やっている仕事は、タオルたたみとひもつけをしています。タオルたたみが早く終わったら、シュレッダを手伝ってい

ます。

仕事は楽しく、がんばって一生懸命やっています。これからもいろんな仕事をしたいです。



### ～岸本 亜矢子さん（明日香養護学校卒）～

高校 2 年生のときに交通事故に遭い、頸椎損傷で首から下が不自由です。口に筆をくわえて絵を描いています。

今年、奈良中央信用金庫さんの 70 周年の定期預金通帳のデザインをさせて頂きました。これは本当に夢がかなったなって感じです。本当にありがとうございました。

私はカレンダーとかを描いて、ありがたいことにたくさん売れるんですが、たぶんほんどの人が私の作品そのものというよりは、私のかわいそうな背景の方に引っ張られて、応援してあげようって気持ちでお金を出してくれてるんだと思うと、むなしいというか、なんだか申し訳ないというか真っ直ぐには喜びきれない気持ちでした。

でも中信さんから通帳デザインのお話を頂いたときは、すごく「お仕事をもらった」って感じがして、絶対、誰がどう見てもこの通帳かわいいって思ってもらえるようなデザインにするぞと張り切りました。通帳だけでなく、いろいろなグッズにもイラストを使って頂いて、周りからもかわいいかわいいと好評で、それでじわじわと実感がわいてきて、「お仕事をした」って感じがして、すっごく嬉しかったです。中信さん、私にお仕事をさせてくれて本当にありがとうございました。

ケガをしてから、私はものすごくネガティブになったし、ほぼいつでも不安です。これからのこととか考えると途方にされます。

私の今 1 番の夢というか目標は、働くことです。今まで知り合いの人に頼まれて、Tシャツとかスマホケースとかのデザインをしたりカレンダーを売ったりはしますが、その辺はバイトとか宿題って感じなので、今の状態で職業を聞かれたら、無職ですって答えるしかないので、自信をもって、イラスト関係の仕事してますって言えるくらい、絵のお仕事をがっつり安定してもらえるようになりたいです。

それで家族や友人を安心させたいです。私もそれで安心したいです。

## ～白砂 春香さん (農業公園信貴山のどか村 / 高等養護学校卒)～



今年の作品のテーマは「ブレーメンの音楽隊」です。

私が消しゴムハンコをしようと思ったきっかけ中学生の時です。親に勧められ、試しに一つ作って見ました。最初に作ったのはヒドイ形で、でも何故か楽しくて、5.6個作っていく内にそれなりの形になっていて嬉しくて、当時の先生に見せたら喜んでもらえて、次第に「作って」と頼まれたりして驚きました。みんなにハンコを見てもらうようになったのは高校生になってからです。

これからも医大のアート展に出せるように、楽しみながらずっと続けていきたいです。

## ～山田 悠揮さん（西和養護学校高等部2年）～



僕はウッドバーニングで仏像を描きました。頑張ったところは、背景の点々のところです。点々を描くのに、力を入れながら焼き付けたので腕が痛かったです。

難しかったところは、頭にいっぱいある顔を一つずつ描いていくのが難しかったです。完成したときはすごく嬉しかったです。

## ～益井 慶太さん（高等養護学校2年）～



僕が描いた作品は、「いつわりの塔」です。「いつわりの塔」とは、入った者の隠していたウソが見破られてしまう塔です。

塔の一番上の目は、ウソと真実を見分けて、そのウソの数で、塔に入った者が「悪」なのか、「善」なのかを分けています。「悪」になると、この塔から追い出されるか、この塔の住人になってしまいます。「善」だったら、運気が上がります！

僕は、これからは人や風景を描いていきたいと思います。それから、僕は、この塔のように非現実的な世界が好きです。だから、いつか非現実的な世界の風景を描いてみたいという夢があります。

## ～山口 真生さん（奈良西養護学校高等部2年）～



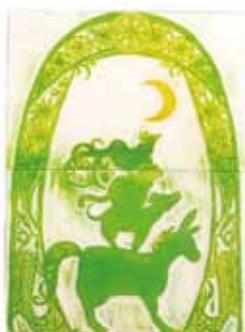
僕は、山口真生です。  
奈良西養護学校高等部2年生です。

僕は、絵を描くのが得意です。

僕の絵を見てください。



「奈良中央信用金庫  
70周年通帳」  
岸本亞矢子さん



「おはるの消しゴム  
はんこ 2018」  
白砂春香さん



「いつわりの塔」  
益井慶太さん



「ウッドバーニング仏像」  
山田悠揮さん



「ひとりぼっちも  
楽しそう」  
山口真生さん



## 2 部

### 【テーマ】

医療現場で活躍する特別支援学校生徒、卒業生たち

### 【パネラー】

石原昌伸 奈良県障害福祉課長

高橋美雪 奈良県立医科大学附属病院副院長 / 看護部長

岡山弘美 奈良県立医科大学障害者雇用推進マネージャー

### 【進行】

赤川義之 NPO法人ならチャレンジド理事長



## パネラーの報告

### ◆石原昌伸 奈良県障害福祉課長

#### ○県の障害者雇用への取り組み状況

- ・様々な仕掛けづくり

「障害者はたらく応援団なら」の設置、「障害者政策推進トップフォーラム」の開催  
「就労連携コーディネーター」の配置、県庁での職場実習の受け入れ促進  
「障害者雇用促進ジャーナル」の発行、ガイドブックの配布・セミナーの開催等

#### ○今後の県の障害者雇用の取り組み

- ・継続は力なり

「職場実習の充実」、「障害者理解の促進」、「職場定着支援」、「情報の共有」等



### ◆高橋美雪 奈良県立医科大学附属病院副院長 / 看護部長

#### ○障害者の受け入れ体制の構築

- ・障害者雇用で現場の多忙解消につなげようと考え方の切り替え
- ・看護部と障害者雇用推進係との連携、連絡体制の構築

#### ○障害者雇用の評価と今後の受け入れ

- ・病院における患者サービス向上への貴重な戦力
- ・受け入れ体制を整備することで、当初持っていた懸念は払拭

「係員のみなさんはきちんと挨拶をしてくれます。私たちが学ぶことがたくさんあります」

「私たちの指示が曖昧で具体的でなかったことに気づきました」

「係員のみなさんは、病棟ではなくてはならない存在であり、とても助かっています」

「アート展を見に来られた患者さんが元気になっていく姿は、うれしいです。障害のある人の作品が持つ力強さ、やさしさ、癒す力だと思います」

「ひとりの人として認められ、褒められ、人の役にたつ、必要とされる、愛されることが究極の幸せだと伺ったことがあります。私もその通りだと思います」



### ◆岡山弘美 奈良県立医科大学障害者雇用推進マネージャー

#### ○奈良医大では平成25年から障害者雇用に取り組む～当初受け入れる部署は少ない～

#### ○病院へ障害者の受け入れを依頼

- ・障害のある係員にはチームで判断して自主的に動けるように指導

#### ○実績があがり、病院内からいろいろな仕事の依頼がくる

「係員に支えられたことに感謝です。障害者である前にひとりの人として接してきました」

「院長、看護部長、看護副部長、看護師長等と上手く連携できたので、ここまでできました」

「誰しも得手、不得手があるので、実習をとおして適材適所へ配置できるように本人の適性をできることを発揮していただけるようにしています」

「職場ではいつも“任せる”“認める”“感謝する”を基本にしています」

「係員を信頼しているので、PHSを持ってもらい“任せたよ”と言っております。PHSできちんと報告があり、困った際は相談がありますので、とても安心です」

「“ありがとう”をいつも言っています。これが係員の成長につながっています」

「支援者の理解があれば、職場は拡がります」「係員には、今後、自立を願っています」



# 特別支援学校と病院を結ぶ☆ 奈良県立医科大学附属病院

## アート展

1650人の来場！患者さん、高等養護学校生徒、医大学生の交流が深まる！

●8月27日（月）～9月1日（土）

●奈良県立医科大学附属病院 BC棟2階廊下

第3回：辻本茉也（高等養護学校3年）  
絵：宮河昂人（高等養護学校2年）



村田崇副知事、吉田育弘県教育長とテープカット



【リフティング】

丸山一喜選手（サッカー日本代表）  
・奈良クラブバモスキャプテン



村田崇副知事



吉田育弘県教育長



古家仁医大病院長



仲子宏高等養護学校長



吉井翼陽さん / 医大病院  
高等養護学校卒

ぼくは、奈良県立医科大学障害者雇用推進係、吉井翼陽です。

ぼくは、この4月から内視鏡で働いています。みなさん、優しくて、楽しく働いています。これからは、色々な事にも挑戦していきたいです。



宮河昂人さん  
高等養護学校高円分教室2年

みなさん こんにちは。  
僕は、昨年は鯨の絵をはじめて出展しました。今年は、金魚の切り絵を制作しました。みんなに見ていただけるのが本当に楽しみです。

僕が切り絵を始めたきっかけは、中学1年生の時です。NHKテレビで鯉の切り絵が映っていました。最初は、うまくできずに、失敗ばかりでしたが、やり続ける

とできるようになりました。

製作中、僕は二匹の金魚が楽しく泳いでいるように感じてきます。この作品から、観に来てくれる人に金魚が友達と楽しそうに遊んでいる雰囲気が届くといいなと思います。

また、他にも個性豊かな作品、他の支援学校の作品、卒業生の作品など、廊下いっぱいに飾られています。どの作品も、絵を描くのが好き、作るのが好き、「好き」がいっぱいついた作品です。

最後になりますが、僕たちの輝ける作品を飾らせていただき本当にありがとうございます。医大アート展、開幕です！どうぞ、ごゆっくり観てください。

# 高等養護学校高円分教室生徒が 搬入、展示、作品説明、ワークショップ、ラジオ出演 ～ 医大学生も一緒に運営！ ～



高等養護学校高円分教室生徒は、医大学生さんと一緒に搬入・展示・受付・作品説明・搬出等を率先して取り組みました。ワークショップなどで患者さんと交流を深め、歓声がわきあがり、楽しい一時でした！



～みんなで作ろう 木一ホールダー～  
高等養護学校高円分教室生徒



～葉っぱ魚つり～  
森川民雄氏



～ペーパークラフト～  
石澤和子氏



～ステンシル～  
川岸正典氏

## 村田崇副知事 と共に！



「ペノムフィッシュ・カラフルフィッシュ」  
宮河昂人さん 高等養護学校 2年

「カメレオンインサマー」  
井上蓮さん 高等養護学校卒

「NEW hand made Resin2018」  
磯知春さん 高等養護学校卒

## 奈良県立医科大学附属病院長 表敬訪問

・高等養護学校、NPO法人ならチャレンジド 7/31



■訪問者  
宮河昂人さん  
尾崎海斗さん  
仲子宏校長  
三牧奈緒教諭  
赤川義之

古家仁病院長（中央）高橋美雪看護部長（右）杉山孝医大理事（左）



「輝く美しい世界」(折り紙アート)  
尾崎海斗さん・高等養護学校 2年

# キラリと輝く！～輝く個性が満開～



「キラキラ輝く宝石」  
益田沙良さん 高等養護学校



「木・人・馬」  
鳥居蒼士さん 高等養護学校



「僕の海の生き物」他  
大前悠輝さん 奈良西養護学校中学部



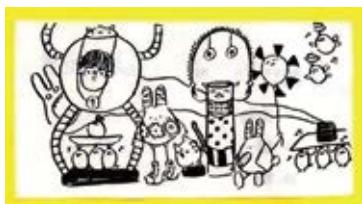
「KAWAI★PERFORMANCE No kaizousya NO Life2018」  
河合俊亮さん 高等養護学校卒



「りんごの木の上でひと休み」  
船橋聰美さん 西和養護学校高等部



「コッホのひまわり」  
大岡碧さん 西和養護学校中学部



「はまさんギャラリー」濱美華さん  
奈良西養護学校高等部



「赤いベベ着た可愛い金魚」(切り絵)  
宮河昂人さん 高等養護学校 2年



「不思議の国のアリス」  
清田優衣さん  
高等養護学校二階堂分教室3年



「げんごろう」上東芳暢さん  
大淀養護学校高等部



点描画「龍」中南真一さん 高等養護学校卒



「フレンズ」仁木海斗さん  
大淀養護学校中学部



「ドラゴン」吹井充さん  
高等養護学校卒



「三匹の虹色犬」向川貴大さん  
高等養護学校卒



「もうすぐ会えるね」  
織田真由美さん(ゲスト)

医大病院でお世話になり、  
真由美さんが亡くなりもう  
すぐ23年。19歳の時に  
膠原病を発症し12年間、  
病と闘い32歳で亡くなりました。

## 来場者の声

皆様の作品、本当に超素晴らしいです。

感激で涙があふれました。これからも素晴らしい作品を創り続けて下さい。有り難う御座いました。生きる勇気をもらいました。

みなさんのアートに触れて、私も元気になりました！

病院スタッフ

毎年、作品を観るのを楽しみにしております。こんなにも素晴らしい作品を創ることができるみなさんの心は、きっと澄み渡る美しさ、繊細さ、力強さをもたれているのだと思います。

人に感動を与えることができるその心をどうぞ大切に、誇りに思って生きてくださいとおもいます。今年もありがとうございます！来年も見に参ります。

病院でお世話になった者です。こんな展覧会があり、病院で見られるなんてステキです。とってもあたたかい作品ばかり。心をこめて制作したのだろうって伝わって来ます。病院と支援学校をアートで結ぶって素晴らしいと思いました。ありがとうございます。



院長、看護部長、雇用推進担当の方全員が熱い思いをもって、それぞれのポジションでできることを積極的に進められ、なおかつ密に連携をとりあっておられることがよくわかりました。

このシンプルな点を突き詰めた結果が今の姿に表れているように思います。

フォーラム参加者

社会の仕組みに個を合わせるのではなく、個が活かされる仕組みへ社会を変えていく発想が大切なのだと思います。

フォーラム参加者（教育関係者）

係員の皆様は、いまや奈良医大にとってかけがえのない、不可欠な存在となられています。共に患者さんの命を救う仲間として、これからもよろしくお願いします。

フォーラム参加者（医療従事者）

病室にいる患者さんが、私の描いた絵を見ていただいて心がおちついたら、とても私もうれしいです！！

来年も病院のアートでんにかならずだしますね。きっと来年もいい作品を描きますね。

西和養護学校高等部2年  
船橋 聰美

ありがとうございます。



## 荒井正吾知事を訪問

### ～御礼・医療・就労、アートをつなぐフォーラム～

9/26

【訪問者】 奈良医大病院長

奈良医大法人企画部長

奈良医大障害者雇用推進マネージャー

ならチャレンジド理事長

荒井正吾知事を訪問し、医療・就労・アートをつなぐフォーラムの御礼、今後の障害者雇用を報告しました。

荒井知事から障害者雇用推進にむけた激励のお言葉をいただきました。

【特別協賛】 奈良中央信用金庫

【協賛】 (株)南都銀行、JAならけん、奈良交通(株)、(株)三輪山本、アスカ美装(株)、奈良総合法律事務所  
(社福)葛城福祉園、(社福)万葉福祉会、(社福)奈良市和楽園、(社福)ひまわり、NPO法人きららの木  
NPO法人ならサポートワークラボ、NPO法人ていあら、(株)シティサービス

## NPO法人 ならチャレンジド

〒639-3125 吉野郡大淀町北野130-11 ☎ 0746-32-3600 Fax 0746-32-1580  
E-mail na.challenged@gmail.com http://n-challenged.net 2018年11月25日発行

この広報紙の発送作業は「ひまわりの家」「きららの木」のみなさんとのご協力で行われています。